

再編記念ハイキングの実施報告（バックナンバー）

●第1回 千苺さくら祭り和大岩岳ハイキング(4/6 開催・千苺大岩岳コース)

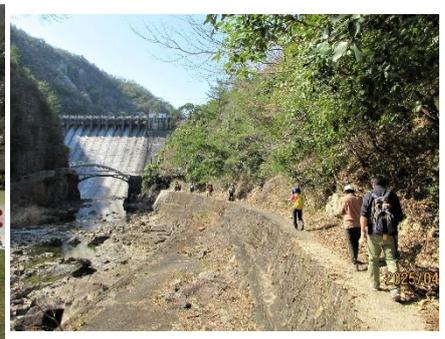
JRの道場駅から出発し、さくら祭りの会場で昼食をして、振舞われたおもちをいただきました。そして午後からは大岩岳(おおいわがたけ)に向けて登山開始しました。全員完走とはなりませんでしたが、ガイドによる植物や地質、地域の歴史や千苺ダムへの解説も要所であり、春の陽気の中、楽しいハイキングとなりました。



・大岩岳山頂でのガイドによる解説風景



・にぎわう道場千苺さくら祭りの会場



・最後は千苺ダムにも立ち寄りました

●第2回 摩耶徳川道と森林植物園内散策ハイキング(4/29 開催・摩耶徳川道コース)

阪急六甲駅近くの護国神社を出発し、柚谷道の急な山道を登って穂高湖へ。ツツジが見頃な湖畔でお昼休憩し、徳川道を歩いて最後は森林植物園に到着しました。道中ではガイドによる徳川道や六甲山の開発に関する歴史の話、最後は植物園の副園長による植物解説がありました。好天にも恵まれたことともあり、充実したハイキングになりました。



・柚谷道でのガイドによる解説風景



・杉や檜の並木が点在する徳川道を抜けます



・植物園ではシャクナゲが満開でした

●第3回 山城跡と山寺巡る再度山ハイキング(5/31 開催・再度山越えコース)

今回のルートは新神戸駅～滝山城跡～大龍寺^{たいりゅうじ}～再度山^{ふたたびさん}～再度公園^{ふたたびこうえん}です。

新神戸駅を出発してすぐに急峻な山道を登りまず城山へ。

神戸市の文化財学芸員から滝山城跡で地形を活かした山城の解説を受けました。

次の大龍寺では住職の井上さんに境内を案内いただき、お寺の成り立ちの解説や法話を聴聞しました。

その後はガイドによる石仏についての簡単な説明と共にミニ八十八箇所と奥の院を巡り、再度山山頂、ゴールの再度公園を目指しました。

全員が最後まで完走し、楽しいハイキングとなりました。



・学芸員による山城解説



・大龍寺で住職の法話を聴聞



・奥之院に続くミニ八十八箇所巡り

●第4回 豊かな文化と歴史が息づく山田の里・錦秋ハイキング(9/21 丹生山田の里コース)

秋の初回は箕谷駅～無動寺～六條八幡宮～丹生宝庫～つくはらキャビンと歩きました。

丹生山の麓に広がる農村を歩きながら、かやぶき古民家や伝説の史跡に立ち寄りつつ、古刹の無動寺へ。護摩行を見学したあと、住職の久保さんに重要文化財の仏像の解説をいただき、本堂を拝観しました。道中、学芸員による若王子神社や六條八幡宮の三重塔といった文化財の説明を聞きながら、つくはらキャビンを目指しました。

暑さも少し和らぎ、ヒガンバナや道端のくり、収穫がすすむ田んぼなど、秋らしさ満点の楽しいハイキングとなりました。



・かやぶき古民家と稲穂



・無動寺での住職による仏像説明



・学芸員による丹生山の丁石の解説

●第5回 山城跡と太山寺国宝を巡るハイキング(11/22 太山寺・山城跡コース)

紅葉美しい11月のハイキングイベントは学園都市駅～伊川沿い～高畑城跡～太山寺を歩きました。伊川沿いに広がる田園地帯、石戸神社、太山寺の仁王門前を通り、アップダウンが続く歩き応えのある自然道を進み高畑城跡へ。学芸員による山城解説を聞いたあと、明石海峡大橋が一望できる山城跡で昼食をとりました。午後は市内唯一の国宝建築物がある太山寺へ。住職の辻井さんにお寺の歴史や本堂の解説をいただき、阿弥陀如来坐像を堂内で拝観しました。解散後は紅葉が綺麗な境内を散策したり、境内裏手にある磨崖仏まで足を伸ばしたり、秋晴れの下、楽しいハイキングイベントとなりました。



・高畑城まではアップダウンの連続です ・高畑城跡から明石海峡大橋や家島が見えました ・住職から太山寺本殿の解説を聴きます

●第6回 あいな里山公園とんど焼きと白川徳川道ハイキング(1/12 白川徳川道コース)

今回のルートは白川台バス停～大歳神社～徳川道～あいな里山公園の約5kmを歩きました。白川の大歳神社、樹齢が400年以上ある「石抱きカヤ」を巡り、約150年前の古道、徳川道へ。古道周辺の歴史や自然、地質などの解説も織り交ぜながら歩いた先は源平合戦ゆかりの地・相談ヶ辻。厳しい寒さにもかかわらず、参加者全員が予定通りにあいな里山公園に到着・解散しました。最後は勢いよく燃え盛るとんど焼きを鑑賞。火の温もりを感じるとともに、焚き上がる煙を浴びて、今年一年の無病息災、五穀豊穰を祈りました。



・神戸市民の木でもある白川の石抱きカヤ

・徳川道沿いの石標を解説

・あいな里山公園のとんど焼き

●第7回 義経道と丹生帝釈登山(2/28 丹生山義経道コース)

今回のルートは藍那駅～藍那古道(義経道)～表参道(丁石道)～峠道～帝釈山～丹生山～つくはらキャビンでした。

約850年前の源平合戦で一ノ谷へ向かう源義経の軍勢が駆け抜けたと伝わる藍那古道(義経道)を北上し、丹生会館前で小休止。丹生神社への表参道・丁石道を歩き、途中勾配のきつい峠道を経由して帝釈山山頂に立ち寄りました。紀淡海峡の和歌山県友ヶ島や遠く四国まで見渡せる山頂でお昼休憩したあと、丹生山の山頂部に広がる山城跡、丹生神社、明要寺跡を巡りつくはらキャビンへ。

時折冷たい風も吹きましたが、12km 以上ある健脚向けコースを全員無事に完走することが出来ました。



・義経道から見渡せる丹生山系



・丹生山に続く丁石道(表参道)



・丹生山の頂上直下からの眺望